

令和 4 年 8 月 18 日 メルボルン交流抄

「メルボルン大阪ヨットレース 2025—海が結ぶ姉妹都市」

2025 年には大阪関西万博が開催されます。遠いように思いますが、あと 2 年半後ですのであつという間でしょう。

今回はこの万博の開幕直前に合わせてメルボルンから大阪までのヨットレースを企画している George Shaw 氏を紹介します。



George Shaw 氏 (Sandringham Yacht Club)

Shaw 氏はメルボルンのサンドリングラム・ヨット・クラブに所属するベテランのヨットマンです。彼が実行委員長となってメルボルン・大阪ヨットレースを企画しており、今年 8 月も日本に行って政府、大阪市、市議会関係者等に説明・相談を行って来られたところです。

このレースは二人乗りのヨットで 3~7 週間かけて、無寄港・無補給でメルボルンから大阪までレースをします。10 か国 100 隻以上のヨットが既にエントリーしています。

最も速いヨットで 3 週間、遅いヨットで 7 週間かかるそうです。したがって、スタートする時点で過去のデータをもとにハンディキャップが与えられます。即ち、一番遅いであろうヨットがまず最初にスタートして順にスタートしていきます。一番速いヨットがスタートするのは最初のヨットが出てから 4 週間後になります。そして大阪のゴールに着くのがほぼ同じ時間帯になるということだそうです。信じ難いようなレースなのです。

Shaw 氏は、今回のレースを通じて地球温暖化対策に資することを大きなテーマにしています。レースに参加する全てのヨットに協力をお願いして水質のデータ収集を行い、また、水素燃料の活用と組み合わせられないかとも考えています。

今後実現までには乗り越えるべき課題も多々あると思いますが、ご存じのようにメルボルン市と大阪市は半世紀にわたる姉妹都市関係にあります。この姉妹都市を結ぶヨット・レースは双方の協力関係をさらに強めることになるでしょう。なんとか成功裡に実現できることを願っています。今後も応援しています。



ヨット・レースのロゴ